

# 「人と自然を考える地球企業を目指す」

## 全国で廃食用油リサイクル網を完成

(株) デイリーヤマザキ  
環境推進室 室長 西山靖弘さま  
太田洋児さま

同席 (株) 神戸商店 神戸純専務

問：廃食用油を回収リサイクルに切り替えられた理由はどのようなものでしたか？

西山：当社の環境方針はその基本理念として「人と自然を考える地球企業を目指す」を掲げています。コンビニエンスチェーンですから環境負荷への対応は店舗が中心になり、その取組みとして、従来廃食用油については凝固剤で固めて捨てておりましたが、資源として活用するために「フライヤー廃油リサイクルシステム」の構築をスタートさせました。その後、食品リサイクル法によって平成18

年度までに食品廃棄物の20%再生利用等をしなくてはならないと決められ、廃食用油に取り組むことでその

かなりの部分を達成できるという見極めもつき、展開が本格化しました。

もうひとつの理由として、当社は「お店で手づくり」というコンセプトで店内で焼きたてパンやドーナツ、弁当・惣菜を調理する「デイリーホット店」の業態を展開しているところです。9月末までに全国92店舗になります。これらの店舗ではフライヤーが1台増設となり、使う食用油も増えます。当然廃食用油も増加します。この面からも廃食用油リサイクルは早急に取り組むべき課題でした。

問：その後の展開はいかがですか？

西山：昨年4月から8エリアでスタートさせ、今年9月に青森から鹿児島まで全国展開を達成したところです。松戸エリアで2年間テストし、その結果を見つつ、関東、東北、関西と順次展開してきました。

現在の回収状況は1店舗当たり平均1日



西山靖弘室長さま

1・9kgリサイクルしている計算になります。これを去年の生ごみの発生量で試算すると、食品廃棄物の少なくとも10%強を廃食用油が占め、つまり食品リサイクル法に決められた20%再生利用等の半分を廃食用油リサイクルで達成することができます。

現在の店舗参加率は60%弱。今年中に70%に達するでしょう。来年には80%にしないといけないと考えていますが、個店ごとの対応ですので、残りの店舗での取り組みには時間がかかるかなと思っています。

➤ 神戸：御社の「秋・冬総合展示会」でコーナーを設けていただき、ビデオでの解説や液体石鹸の展示などをしました。来場者に説明させてもらい、かなりアピールできたと思いますが、まだまだシステムを理解してもらえていないな、という実感もありました。36エリア2000店舗への徹底はこれからです。

西山：エリアマネージャー等の理解によっても地域に差がでるようです。ビジュアル媒体などを全国にもって回るような取り組みが必要かと思います。



「2003秋・冬総合展示会」で廃食用油リサイクルを説明する太田さん(右)と神戸専務(左)

問：店舗オーナーの理解はいかがですか？

太田：循環型社会への取組み、資源の有効活用としてのご理解をいただいておりますが、コスト面では従来凝固剤で固めていた時には作業に1時間以上かかっていました。この作業の9割以上が浮いた計算になります。ただ、我々管理部門では時間もコストだという捉え方をしますが、店舗オーナーはそう考えない面もあります。それでも月に2缶以上廃食用油が出る店舗では凝固剤を使うより利益が出ているはずです。

➤ 問：問題点はございますか？

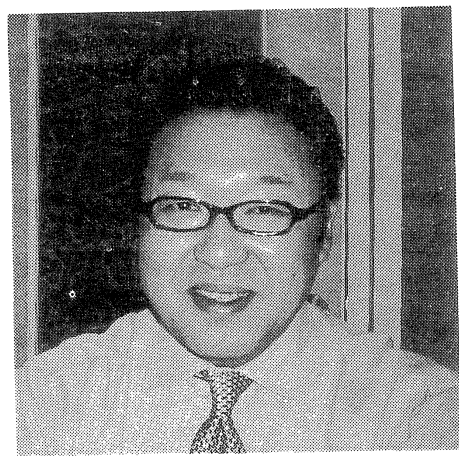
太田：移し替えが面倒だという声はあるようです。専用ペール缶がまだ大きいようで、バックヤードが狭いことや、女性にとっては重いというのが検討課題でしょう。マニフェスト伝票の管理を(株)ジェー・キュリアスさんをお願いしていますが、この管理コストというのも店舗オーナーに理解してもらおうよう努めなければなりません。



問：回収業者の接客態度などはいかがですか？

太田：コンビニというビジネスは納品時間がシビアで、時間による管理が徹底しています。廃食用油回収についてもお店では決めら

れた時間に来るものと思っていましたが、回収業者の側では必ずしも対応できなかった。そのため当初行き違いがありましたが、徐々に解決してきました。また接客態度でも一



太田洋児さま

部で問題がありました。あいさつが出来ない、このトラブルが多かったですね。

西山：コンビニの仕事は分刻みです。回収が予定より遅ければオーナー・責任者が不在ということもあります。そんなときに、挨拶もなしに入られたりするのはよくない。それにバックヤードでは金銭の管理をしております。セキュリティの面からも入店する際の態

店内での廃食用油の入れ替え作業  
(デイリーヤマザキ金町駅前通り店にて)

## デイリーヤマザキの環境基本理念

デイリーヤマザキでは、「人と自然を考える地球企業を目指す」基本理念のもとに、本部と加盟店が一体となって環境保全活動に取り組んでいます。地球環境を守ることは私たちの使命であり、コンビニエンスストア事業活動の全体を通して取り組むことによって社会の負託に応えていきたいと考えています。

度などはきちんとやっていただきたい。

神戸：今後とも厳しく指導して店舗の理解を得るようにします。

太田：最近是非常によく運営してもらっていますよ。

西山：これを機会に協力体制をさらに強化していきたい。ISOの精神は継続的改善です。互いに協力しつつ一歩ずつ改善し、リサイクルを達成しましょう。

神戸：システムづくりのお手伝いをするために、さらなるサービス向上につとめます。

(文中敬称略)